

## 札幌北高同窓会役員会との懇談会 議事録

日 時 2009年2月24日(火) 午後7時～8時

場 所 ノースエウム

出席者 【同窓会役員会】 8名

大滝 誠一 会長(北高12期)

大川 しよ子 副会長(庁立42回)

萩本 和之 副会長(北高14期)

佐藤 一吉 幹事長(北高17期)

櫻田 町子 副幹事長(北高17期)

赤谷 正樹 副幹事長(北高19期)

佐藤 公彦 副幹事長(北高20期)

立花 憲生 監査(北高23期)

【30期実行委員会】 14名

委員長 小林 副委員長 佐々木、扇谷

総務部 藤田、受川、渡辺 広告部 土田、梅本、佐藤

会券部 田中 会場企画部 坂本 お茶会部 高田

編集部 柴田、畑沢

### 記

#### 1 自己紹介及び実行委員長報告

- ・同窓会役員会、実行委員会双方から自己紹介を行った。
- ・小林委員長から、同窓会総会の日程、会場の正式決定、会費値上げ、北高への挨拶などについて報告した。会費値上げについては、実行委員会に一任する、総会を盛り上げるようがんばってほしい旨のコメントを頂いた。
- ・さらに、おもてなしの心、つないでゆく心、育てる心の3つのコンセプトと楽しむ心の行動指針にて、活動を行っていく旨の報告を行った。また、次期幹事、子幹事についてもコンタクトを図りつつあることを報告した。(別紙資料1参照)

#### 2 実行委員会各部からの報告

- ・別紙資料1に基づき、各部から活動状況を報告した。
- ・会場の都合から幹事が納まらないということがないようにしてほしい、同窓会HPも活用すること、などアドバイスを頂いた。

#### 3 現役支援について

- ・担当の柴田編集部長より、現役支援事業を継続することを報告。(別紙資料1参照)
- ・先輩OBに講演依頼も考えている(未定)が、そうなった場合、コンタクトを同窓会を通じてお願いしたい。

同窓会と実行委員会が一緒になって現役支援することが大切である。過去には同窓会主催により、PTA向けの講演を行ったこともある。また、OBには社会経歴が豊富な方もいるので、それも含めて検討してほしい。

#### 4 役員会からの説明事項

・別紙資料2により、役員会から説明していただいた。

1. 総会については、同窓会が実行委員会に一任しているので、自由に活動してほしい。
2. 役員会とは別に幹事会があり、年2回（総会決起大会、総会の時）開催している。幹事は各期2名。なお、総会の日々の幹事会の部屋を実行委員会が確保してほしい。
3. 活動資金の100万円については、返済義務はないが、返済しなかった年はない。また、実行委員会から同窓会へ寄付をお願いしているが、近年減少傾向にあるので、がんばってほしい。
4. ノースエムなどの不動産、財産を管理する目的で、財団法人を立ち上げているが、実質的には同窓会と一体と考えてよい。ノースエムの使用料として一括納入してもらうことになっているが、これは財団への寄付である。
5. ノースエムのコピー機は1枚 円で利用できる。ノートに記録しておき、後日一括精算とする。
6. 毎年海の日（今年は7/20）にアカシア会ゴルフコンペがあるので、それを活用して会券販売・広告掲載などをPRするとよい。今年は22期が幹事。
7. 同窓会が終了した後、9/5に当番期を囲む会（慰労会）などもある。

以上